

12月も半ばを過ぎ、吾妻山の景色もすっかり冬らしくなってきました。

夏の間はあれほど関心が高かった地球温暖化ですが、温暖化というひびきのせいか、寒くなると意識の中から薄らいでゆくのは不思議なものです。

しかし最近何かにつけて目にするのはエコ○○ということば。私たちの意識の中にも、すっかり定着したようにみえますが、エコという大義名分のもと、つい買ってしまったエコバッグやマイバスケットが家の中で物入れに…なんてことはないでしょうか(笑)?

さて、辞書をひもといてみれば、エコ(エコロジー)とは、「自然環境保護運動。人間も生態系の一員であることから、人間生活と自然との調和・共存をめざす考え方。」とあります。(大辞林より)

何となく「エコ=節約」と捉えがちですが、実はこんなスケールの大きい意味を持っていました。

小さなことからコツコツと。どこかで聞いたセリフですが、でも私たちにできることは、まさに小さなことを一つ一つ続けていくことなのでしょう。



専務のこらむ

「もったいない」と「不要」のバランス



「なぜあの人は整理が上手なのか?」(中谷晃宏著)という本の中では、「今使えないモノは、持たない、買わない、捨てる、もらわない」「本当に残しておかなければならないモノはめったにない。捨てるのは重要な“仕事”で脳も活性化する。」とっています。

なるほど、書類や衣類など整理しているつもりが、「いつか必要になる事がくるかもしれない。」とか、「これは○○の時買ったものだから。もらいものだから。」など、なかなか捨てられないでいる気持ちに背中を押してくれそうです。

その一方で、以前から国や自治体などで広めている「MOTTAINAI・もったいない運動」というものがあります。

発生抑制(Reduce)、再利用(Reuse)、再生利用(Recycle)の3Rの概念から成り立っていて、「限りある資源を有効に使う。物を大事にする。使えるものはなるべく捨てないで再利用する。」という事を言っています。物を粗末にしていると「もったいないお化けがでるよ～」なんていうTVCMも昔ありました。

「使い道が無いから捨てようか?」「いやいや物は大事。もったいない!」こちらは、「捨てようかな?」と思っていた気持ちにブレーキがかかります。

上記の二つの考えは、一見して全く逆の事を言っている様に思えますが、行きつく先は一緒なのだと思えます。

もったいないからと言って食べすぎれば、成人病やメタボになる可能性がある。→「健康な体を壊してしまうのはもったいない。」

いつかは使うかもしれないと思って不要なものを何でもかんでも取っておけば、部屋や家はゴミで占有されてしまう。→「住宅ローンや家賃をゴミの為に払っているのはもったいない。」

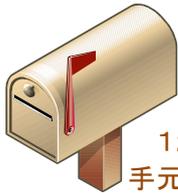
何が本当の「もったいない」なのか?「もったいない」と「不要」を見極めるバランスが重要なのだと思えます。これはモノだけに限った事ではありません。

気持ちもきちんと整理して2010年を良い年にしたいですね。

専務取締役 坂井 剛



こおいやま便り



～「今日を踏ん張る」～



郡山市民であれば、「週刊郡山ザ・ウィークリー」を知らない人はいないでしょう。

12万部発行の生活情報誌です。サカイ郡山営業所にも、毎週無料で届きます。

手元にある今週号が1318号ですから、25年以上も続いていることになります。先日、発行元である(株)企画室・コア、三田公美子社長の講演を聴く機会を得ました。ご本人曰く、「野村監督のような顔」。しかしお話は、「綾小路きみまろ」ならぬ「三田小路きみまろ」でした。

小学校入学時のエピソードが楽しい。お母様が学校入口にある銅像を指さして、「あれが有名な二宮金次郎よ。薪を背負いながら勉強した偉い人。あなたも負けないように」。公美子嬢は考えた。「歩きながら読みたい本って何。今までそんなにおもしろい本、読んだことない」。入学式が終わると二宮さんの所へ真つしぐら。金次郎像にやっとの思いでよじ登って、肩越しに本をのぞき込む。本には曲がりくねった線が数本、ニョロニョロと書いてあるだけ。がっかりした。怒りがこみ上げてきた。すると追い討ちをかけるように、校長先生からお叱りの声が、「こらっ。どこの子だあ」。

講演会場は笑いの渦。三田社長は子供の頃から、好奇心とバイタリティーにあふれていたのです。創業から40年。押し寄せて来る変化の波を、持ち前の元気さと社員のがんばりで、何度も何度も乗り越えて来られたそうです。

その秘訣は、「**変化対応は自分が変わるしかない。今日限りと思って、今日を踏ん張る**」

笑わせて、考えさせて、最後はうならせてくださいました。

来年は寅年ですね。郡山営業所も、3年目を迎えます。「虎穴に入らずんば虎児を得ず」。創造的な冒険がなければ得るところもない、ということでしょうか。山あり谷ありの連続かもしれませんが、ホップ・ステップ・ジャンプと飛躍できることを願っています。2010年も、どうぞよろしくお祈りします。

郡山営業所 熊田 和雄



今回の担当は郡山営業所の関口です!! 気になるストレスと食欲のお話です。

～ストレスコントロールできていますか?～

話題のメタボリック症候群。メタボにならない為には1日3食を決まった時間に、きっちり摂ることが大切だそうです。しかし、体に悪いとわかっていても止められないのが夜食の習慣。

みなさんは夜、小腹がすいたとき、何を食べていますか? スナック菓子? チョコレート? はたまたケーキ…? 体の疲労やストレスに伴い、つつい甘いものをなんてことよくありますよね。お酒の後にお腹が落ち着かずラーメン?なんていうのもダイエットには大敵です。不思議なことに高カロリーの食べものほど、夜食するとおいしく感じるものらしいですよ。

しかし夜食を食べる理由は空腹だけではありません。

ストレスも大きな要因になっていることは、みなさんご存じの通り。

健康を維持する為には、食事とストレスコントロールに密接な関係があるようです。

つつい食べ過ぎ、飲み過ぎてしまう年末年始は、特に健康管理に気を付けて下さいね。

年齢を重ねるごとに、健康の大切さをヒシヒシと感じている今日この頃です。



郡山営業所 営業 関口由美子

■マナーの壺 「失敗しないメールの送り方」その②

①ひらがなを上手に使う

一般的に、ひらがなは女性的、漢字は男性的な印象を与えられています。漢字が多い文章はなんとなく堅い感じがするもの。たとえば、「有難う御座います」と「ありがとうございます」では受ける印象に差が出ますね。決して ひらがな＝漢字を知らない ということにはなりません。上手に取り入れましょう。

②ストレート過ぎない

メールでは、ストレートすぎる表現やいきなり結論から切り出すような書き方は避けたい方が無難です。ビジネスでは「報告は結論から」が基本ですが、メールに限っては順序だてて説明したほうがよいかもしれません。

③送る前に読み返そう

どんな短い文面でも、送る前にもう一度受け取る立場で読んでみましょう。誤字脱字を防ぐ目的はもちろん、うっかり感情的なメールを送ってしまう危険も避けられます。

土曜営業カレンダー
〈2010年1月～3月〉

下記の土曜日は
通常営業しています。

1月/16日

2月/6日・20日

3月/6日・20日

－あとがき－ 時代の波に乗り遅れるな! 時代はエゴ!(笑)ということで今回から思い切ってフルカラーを廃止することにしました。いざ作ってみると、モノクロにもそれなりの味わいがあるものです。インクの色は変わっても、中身は今まで同様、いえ今まで以上にみなさんに親しんでいただける紙面にしていきたいと思っております。

今年一年、本当にありがとうございました。来年もよい年でありますように・・・

(株)サカイクリエート 社員一同